

ベストペーパー特別賞の授賞にあたって

原 清己 (イノベーション・エッジ)

情報システム学会第 17 回全国大会・研究発表大会 (ISSJ2021) にて、光栄なベストペーパー特別賞をいただき本当に嬉しく思っております。情報システム学会の皆様深く感謝するとともにお礼を申し上げます。

今回の発表の趣旨ですが、IT 就業者向けの研修活動を通じて日頃から肌で感じていた思いを発表いたしました。情報システムに累積した技術的負債から抜け出し、より価値のある情報システムを構築するためには、システム開発現場で働く人材の育成、能力の活性化が欠かせません。今回は、その解決策の一つとしてアジャイルアプローチの導入を提案いたしました。アジャイル開発のプロセスやプラクティスの導入をするだけでなく、アジャイルの原理・原則である人や組織のあり方をアジャイルに変えることで、より価値の高い情報システムの構築と、協調性や積極性のある有能な人材育成、その両方の解決を目指すアプローチであると考えます。情報システムの成長と、そこで働く人間の成長は、お互いが共創関係にあり共に生れると考えます。

特に、今のような DX を目指す時代においては、企業文化の素早い変化が求められると言われます。従来に増して素早く変化できる組織能力が必要となります。アジャイルの原則である素早く変化するためのプロセスの在り方、人の在り方、組織の在り方に変えるためにアジャイルアプローチを導入します。結果として組織モデル、組織運営、そこで働く人の価値観を変え、素早く変化するための組織能力を育成できます。そのことがDX時代に沿った企業文化の実現である。そのように考えます。

情報システム学会のキーワード「人間中心の情報システム」を考えた時、幅広い技術論、人材育成論の両立と共に、さらに組織論、経営論など様々な知識体系と技術体系が融合することが大事で、それによって、人間中心の価値ある情報システムを構築できると信じます。

これからも、このテーマについてさらに探究を進めていきたいと考えています。今後とも引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。今回は誠にありがとうございました。